

承認番号1901

研究課題名「ファブリー病診療におけるLyso-Gb3の有用性の検討(2)」
の研究からのお知らせ

研究期間：2年間 2014年5月26日(倫理委員会承認後)～2016年3月31日

研究責任者らが、新潟大学から承認を受けている課題名「ファブリー病診療におけるLyso-Gb3の有用性の検討」研究では、液体クロマトグラフトンデム質量分析(LC-MS/MS)を用いて血漿グロボトリアオシルスフィンゴシン(Lyso-Gb3)値を測定しています。しかし、正常下限値を設定するために、早急に血漿Lyso-Gb3値の正常範囲を明らかにする必要があります。

そこで、以前新潟大学から承認を受けた課題名「男性透析患者におけるファブリー病のスクリーニング」研究で使用した男性透析患者さんの血漿検体のうち、非ファブリー病と診断された患者さんの血漿検体を使わせていただくことになりました。

本研究は、厚生労働省臨床研究の倫理指針(平成20年7月31日全部改正) 第5試料等の保存及び他の機関等の試料等の利用 1 試料等の保存等 (2) 人体から採取された試料等の利用 の②の項に該当します。

「ファブリー病診療におけるLyso-Gb3の有用性の検討(2)」という研究課題名で、新潟大学の倫理審査委員会から承認を得ています。

何卒、ご理解のほどよろしくお願い致します。

研究についての問い合わせの窓口は、研究責任者の丸山弘樹がお受けします。連絡先は下記の通りです。

新潟市中央区旭町通り1番町754

新潟大学大学院医歯学総合研究科腎医学医療センター

電話025-227-0436

特任教授 丸山 弘樹